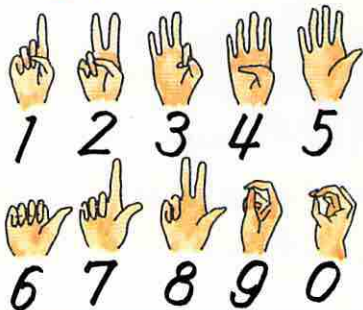


知っていますか？ 手サイン



東京証券取引所の株券売買立会場の中では、注文を伝えたり売買の結果を報告するために手サインが使われていました。

数字の例



売りの場合は手の平を相手に見せ、
買の場合は手の甲を相手に見せる。

株券売買立会場



(1999年4月閉場)

会社のなまえ

- 清水建設**: Hand sign with index and middle fingers up, thumb down. Label: 木の石をくんでコンコン.
- 建設会社**: Hand sign with index and middle fingers up, thumb down. Label: ゲンコツ = 建設会社.
- 味素**: Hand sign with index and middle fingers up, thumb down. Label: オシ.
- 富士銀行**: Hand sign with index and middle fingers up, thumb down. Label: 空に富士山をかくて.
- 三菱**: Hand sign with index, middle, and ring fingers up. Label: 3をヨコにして三菱.
- 商事会社**: Hand sign with index and middle fingers up, thumb down. Label: 障子をあけるマネ = 商事会社.
- BankのBをぐる"8"**: Hand sign with index and middle fingers up, thumb down. Label: BankのBをぐる"8".
- 日産自動車**: Hand sign with index and middle fingers up, thumb down. Label: 2と3で日産.
- ガス会社**: Hand sign with index and middle fingers up, thumb down. Label: ガス会社.



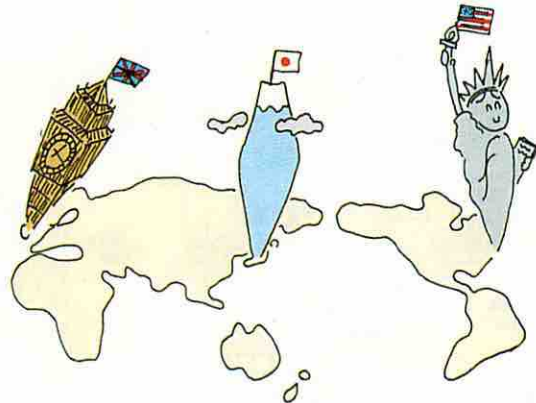
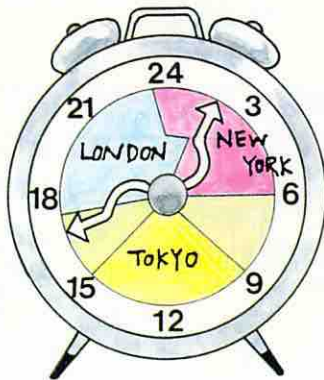
手サインロボットが教えてくれます。



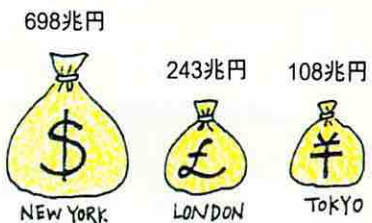
世界の証券取引所



東京証券取引所はニューヨーク、ロンドンと並んで世界3大証券取引所のひとつとされています。

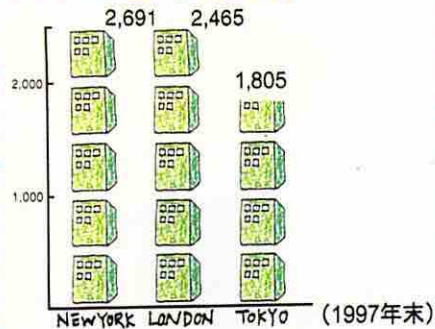


売買代金



(1997年)

上場会社数

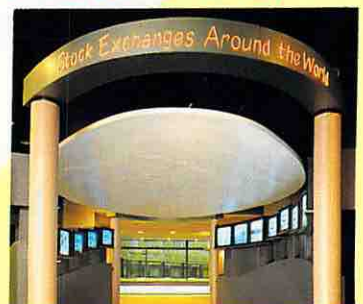


(1997年末)

東京証券取引所では、海外証券取引所との連携や、国際証券取引所連合(FIBV)等の活動を通じて、国際協力関係の強化を図っています。



アラウンド・ザ・ワールド

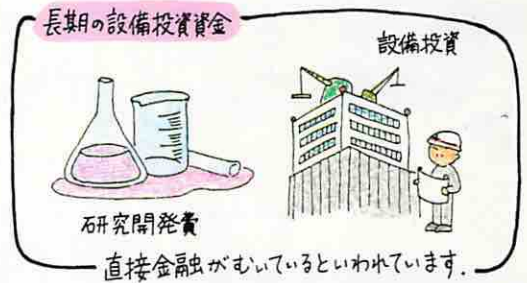
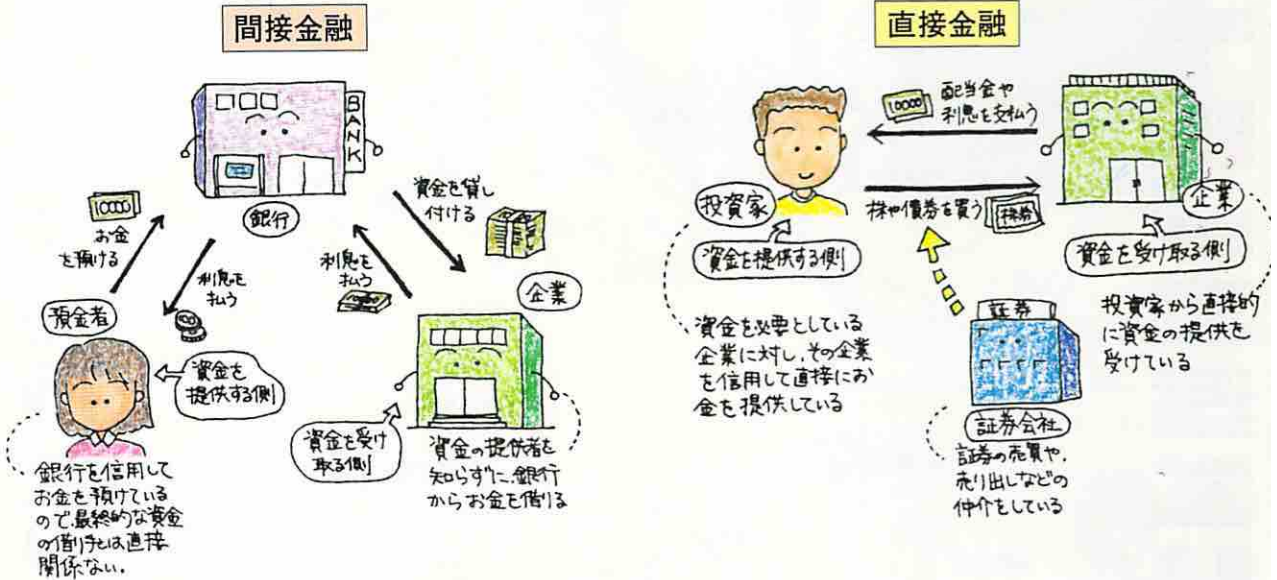


世界の取引所での売買のようすが見られます。

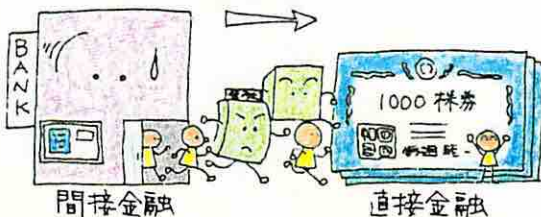
証券市場の役割

1. 長期安定資金調達の場合として

企業が資金を調達する場合、資金の使用目的や会社の経営状況などによって方法が変わります。外部から新たに資金を調達する外部調達の場合は直接金融と間接金融に分かれます。



米国では証券発行による直接金融が主流になっていますが、わが国においては、今までは銀行からの借り入れが大きなウェイトを占めてきました。しかし最近では、企業が資本の充実と財務体質の強化を図るため、直接金融のウェイトを高めており、長期資金調達における証券市場の役割は更に重要になっています。



また、証券市場は市場価格の変動を通じて、成長性や収益性に富む部門へ必要な資金を効率的に配分するプライスメカニズムの機能があります。この市場機能により、限られた資金が適切かつ効率的に配分され、そのことが国民経済の発展につながるようになります。

2. 金融資産運用の場として

証券市場は、国や企業に対して資金調達を提供するだけでなく、資金を供給する側に対して、資金を有効に運用する場も提供しています。

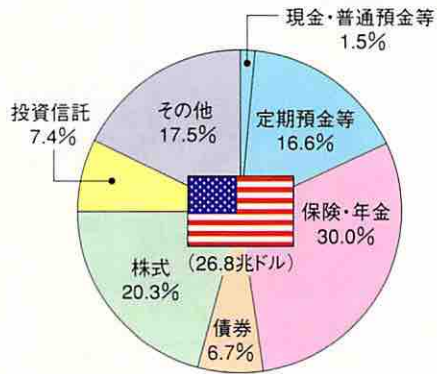
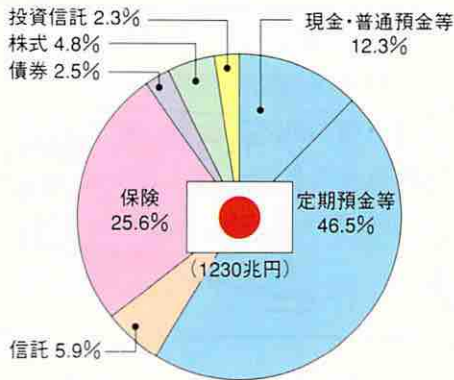
証券市場では、さまざまな投資家が資金を運用しています。生命保険会社や年金基金などの機関投資家も、国民から預かった資金を証券市場で運用していますし、海外の投資家も日本の証券市場で活発に売買を行っています。



現在わが国の個人金融資産は1,200兆円を超える莫大なものになっています。しかし、その大半は預貯金で運用されており、証券での運用の比率はアメリカに比べて際立って低いのが現状です。

●個人金融資産残高

(1997年末)



(日銀統計及びFlow of Funds Accountsより作成)

高齢化社会の到来や金融資産の一層の増大を背景に、預貯金だけでなく、各自のニーズに合った金融資産を選んでいくことが更に必要になってきます。

そして資産運用の場として果たす証券市場の役割もますます重要になっています。

カブトシアター



証券博士が証券市場の役割について教えてください。

先物取引

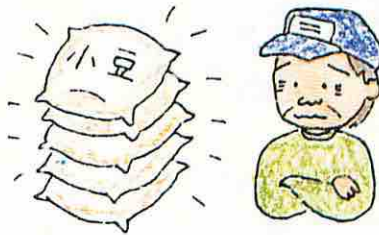
先物取引は、もともと農作物の取引などで、激しい価格の変動により思わぬ損失が生じるのを防いだりするために考えられた取引方法です。

ですから、何ヶ月も先の売買をあらかじめ決めた「今の値段」で契約しましょう、というのがこの取引の考え方なのです。小豆の取引で説明しましょう。



小豆農家の立場

豊作だったら...



たくさん採れてうれしいけれど、その分安くなって、もうけは薄いんだよなあ...

和菓子屋さんの立場

不作だったら...

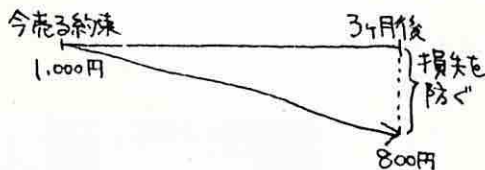


不作の年は小豆が値上がりしてしまうけど、買わないといけなしいし...

もともと安定した価格で取引する方法は？

そんな時は「先物取引」で今のうちに値段を決めておけば安心です。

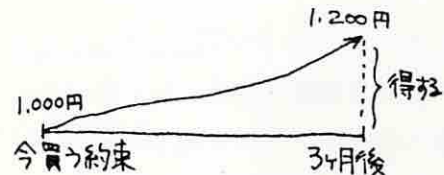
値下がりの場合



なるほど、今の時点で1kg 1,000円で、3ヶ月後に売ることになれば、市場の値段が800円になったとしても、契約どおり1,000円で売れる！



値上がりした場合



今の時点で、3ヶ月後に1kg 1,000円で買うことにすれば、万が一価格が上がって1kg 1,200円になっても、1,000円で買えるのね。



予想どおりに相場が動かなかった場合は、実際に期日に小豆を受渡しする前に、反対売買をすることによって、当初の売買契約を実質的に解消し、損失を縮小することもできます。